

What do you do?

世界で活躍する20年後の自分を紹介しよう



(小学校第6学年 外国語科)

1人1台端末活用ポイント

- ・好きな国、なりたい職業に関する写真を共有しながら、自分が話したいことを相手に伝える。

佐賀県CAN-TRYリスト

- 「読む」音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
- 「聞く」日常生活に関する身近で簡単な事柄についてゆっくりはっきりと話されれば、具体的な情報を聞き取ることができる。
- 「話す」日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。
- 「書く」自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書くことができる。

授業の流れ 5時間(本時1/5)

導入	展開	まとめ
①あいさつ ②ALTとのやり取りの中で、大切な表現を聞き取る。 ③言語活動の中で、どのような表現を使う可能性があるのかを予測する。 ポイント 「言語によるコミュニケーション能力を身に付ける。言語への興味関心を高める」	④世界で活躍する自分になりきって、同窓会をする。 ⑤住んでいる国や就いている職業、好きな食べ物の写真を提示して自分の思いを伝える。 活用ポイント 視覚補助 ⑥教員は、中間評価で、笑顔や頷き等の児童の良さを称賛し広げる。	⑦めあてができたかを確認し、振り返りをする。 ⑧教員は、頑張った点や、上手になったこと、友達の良かったことを振り返り、書くように指導する。 ⑨教員は、挙手や指名で、児童に良い意見を共有させ広げる。

詳細はICT活用教育「プロジェクトE」サイトまで
<https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>



導入

コミュニケーションを進化させるためのポイントは、電子黒板に提示



活動の趣旨を確認した後、活動で使う表現を予想させることで、発話を促し、使わせたい表現を繰り返し扱い、慣れ親しませます。

②

展開

話題の中心となることを写真や絵で提示し、自分の思いを伝えます。



好きな国の食べ物、就いている職業に関する写真を端末に表示して、相手に思いを伝えます。

好きな食べ物
なりたい職業の写真

⑤

電子黒板で、ポイントを確認しながら活動のフィードバックを与えます。



次の活動で挑戦してもらいたいこと(画面ではなく、相手の顔を見たり、相手の反応を見て話をする)を伝えます。

⑥

まとめ

電子黒板で、ポイントを確認しながら活動のまとめをします。



振り返りシートに頑張ったことや上手になったところを記入させ、その成果をたたえます。

⑧

令和3年10月7日(木)吉野ヶ里町立三田川小学校で、中島教諭による6年生の外国語科の授業が行われました。設定は2041年三田川小学校同窓会です。児童は、20年後の自分の写真を胸につけ、1人1台端末に自分が20年後に住んでいる国の写真を提示しながら、どのような仕事をしているのかを友だちに紹介しました。本当に20年ぶりに友達と出会う同窓会のような和やかな雰囲気の一時間でした。